

一年の無火災を祈念 令和8年南越前町消防出初式 1月12日(月・祝)



新年の始めに火災のない一年を願う、消防出初式が行われました。南越前町管内の消防職員、消防団員が式典に出席し、一年の無火災を誓いました。また、式典後には、町民の方々も見守る中、一斉放水が行われ、防火意識をより一層高める機会となっていました。

スキー・スノーボードを楽しむ ウィンタースポーツ教室 1月12日(月・祝)、18日(日)



スキー・スノーボードに関心のある小学生以上を対象としたウィンタースポーツ教室が今庄365スキー場で開催されました。参加者は、スキー・スノーボードのいずれかが希望する種目を選択し、指導員から滑り方を教わっていました。参加者の多くは、ウィンタースポーツ未経験者の小学生が多く、恐る恐る板に乗りながらも斜面を滑走する爽快感を味わっていました。

ベジ ガーデン 「VEGGIE GARDEN とろっさ」に決定 体験農園ネーミングセレモニー 1月14日(水)



今春、道の駅「南えちぜん山海里」の近隣圃場において開設される、体験農園施設のネーミングセレモニーが開催されました。72点の応募の中から、小林日香梨さん(荒井)の「VEGGIE GARDEN とろっさ」に決定し、代理で出席した小林聡さん(写真中央)に記念品が贈呈されました。小林さんは「親しみやすさと多くの方に使ってもらえるようお願いを込めました」と名称の考案理由を代読しました。

柿縄づくりの技術継承 今庄つるし柿 柿縄づくり体験会 1月17日(土)



今庄つるし柿の生産工程で使われる柿縄を作る体験会が行われました。柿縄は野草のミチシバを編んで作られており、柿の天日干しから燻し、乾燥までの工程で使われ、今庄つるし柿の生産に欠かせない物となっています。柿生産者の減少とともに、柿縄を作る人材も少なくなっていることから、その技術の継承に向け、参加者は慣れない手つきで試行錯誤しながらも柿縄づくりに熱心に取り組んでいました。

国民健康保険税の税率改定 南越前町国民健康保険税の税率改定に関する答申 1月21日(水)



南越前町国民健康保険事業の運営に関する協議会の齋藤隆男会長(写真右)が町長室を訪れ、諮問のあった国民健康保険税の税率改定について、昨今の物価高騰などの家庭生活への影響を考慮し負担軽減を図った改定とすることとし、被保険者一人当たり平均で年間約2,000円の引き下げを盛り込んだ内容の答申書を仲倉町長に手渡しました。今回の改定では、「子ども・子育て支援納付金分」が従来の算定方式に加えられると共に、他の区分についての見直しが行われました。

幸福実感性を高めるプロジェクト 【早稲田大学×南越前町×福井県】 ウェルビーイングをテーマにした地域連携ワークショップ 2月3日(火)～6日(金)



2月3日(火)から6日(金)に福井県が主催し、幸福実感性を高めるプロジェクトの一環として、南越前町と早稲田大学との連携による地域連携ワークショップが開催されました。早稲田大学の学生10名と関係者が南越前町を訪れ、町民や町内事業所などへのヒアリングを通じて、学生の視点から幸福実感性を高める取り組みの検討が進められました。3月には、最終報告会が予定され、効果的な施策等の提案が行われます。